青空文庫（8）「銀河鉄道の夜」（30）宮沢賢治

月　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

拾い胸いはじめました。青ジ
ョバンニのうしろを、がた
りがたり、ついて行きました。
「ああ、ぼくはどうしてこん
なにいつまでもいつまでも、
ぼんやりしているのだろう。
お母さんがあんなに遠くへ行
ってしまうのに。」
ジョバンニは、いきなり立
ちあがりました。
「ああ、ぼくはどうしてこん
なにいつまでもいつまでも、
ぼんやりしているのだろう。
お母さんがあんなに遠くへ行
ってしまうのに。」
ジョバンニは、いきなり立
ちあがりました。

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）
・胸：むね

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.